



2020年10月9日

## アフリカの子どもたちの栄養不良を改善する活動を支援 2019年度『ハッピーミルクプロジェクト』 ユニセフに 1,403 万 3,520 円を寄付

コープデリ生活協同組合連合会(本部:埼玉県さいたま市、理事長:土屋 敏夫、会員生協:関東信越7生協)は、アフリカの子どもたちの栄養不良を改善する活動を支援する『ハッピーミルクプロジェクト』(2019年度)で集まった1,403万3,520円を、公益財団法人日本ユニセフ協会に寄付いたします。寄付金は日本ユニセフ協会を通じて、シエラレオネ共和国の栄養改善プログラムと自然災害や紛争で苦しむアフリカ諸国の子どもたちのために使われています。

10月8日(木)、ユニセフハウスにて、寄付金贈呈式を執り行いましたのでご報告させていただきます。



※日本ユニセフ協会早水研専務理事(右)とコープデリ連合会土屋敏夫理事長

『ハッピーミルクプロジェクト』は、コープデリ連合会会員の7生協が販売するCO・OPマークのついた牛乳の売り上げの一部をユニセフに寄付し、アフリカの子どもたちの栄養改善を支援する取り組みで、2008年からモザンビーク共和国を対象に開始しました。

シエラレオネ共和国への栄養改善プログラムの支援は2014年～2019年に行いました。6年間の支援の結果、支援対象地域の栄養改善の取り組みが大きく前進したことから、2020年からはコートジボワール共和国を新たな支援国に決定いたしました。また、2017年からは、自然災害や紛争で苦しむアフリカ諸国の子どもたちへも支援を広げています。

寄付金贈呈式では、2019年度にお買い上げいただいた牛乳6,757万8,392本分に該当する1,351万5,678円に加え、宅配を通じて寄せられた募金51万7,842円を合わせた合計1,403万3,520円分の目録を日本ユニセフ協会へ贈呈いたしました。

『ハッピーミルクプロジェクト』の概要につきましては、次項をご参照ください。

## ＜『ハッピーミルクプロジェクト』概要＞

【2019年度期間】2019年3月21日(木)～2020年3月20日(金)

【対象品目】CO-OP マークのついた牛乳(全24種類)

※コープにいがたは魚沼牛乳も対象 ※コープクルコは虹っ子牛乳1000ml、ゆめっ子牛乳も対象 ※写真は一例

【寄付金額】1,403万3,520円



※牛乳を通じた募金のほか、宅配を通じて募金を受け付けています。

### ■シエラレオネ共和国の子どもたちの状況

古くからの因習、内戦の影響で正しい栄養の知識を持つ人が少ないことや、医療を受けられないこと、医療の質が不十分なことなどが原因で、多くの子どもたちの健康が脅かされています。シエラレオネ共和国は2014年の支援開始当初、5歳未満児の死亡率が1,000人あたり120人でしたが、2018年には105人となり、栄養改善の取り組みが大きく前進しました。



### ■募金を通じて行った2014年～2019年の主な支援活動

ハッピーミルクプロジェクトではユニセフが行う栄養に知識を持った医療関係者やボランティアの育成を支援します。

#### 1. 栄養の知識を持つ保健員を増やします。

医療従事者である保健員へ栄養の知識を教育しています。

#### 2. 栄養不良の治療ができる施設を増やします。

病気やケガを治療する病院はあっても、栄養状態を改善するための病院は少ないのが現状です。栄養不良の治療ができる施設を増やす活動を行っています。

#### 3. 栄養教育に関わる補助用品を供給します。

教育を行うための教材の印刷や購入、教育担当の移動用バイクなどの購入費用に使われています。

なお、2020年からはコートジボワール共和国を新たな支援国としております。『ハッピーミルクプロジェクト』の詳細は公式サイト(URL: <https://sustainability.coopdeli.coop/four-project-milk.html>)をご参照ください。

### ＜コープデリ生活協同組合連合会 概要＞

【住所】埼玉県さいたま市南区根岸1-4-13 【総事業高】5,596億円(会員生協計・2019年度)

【理事長】土屋 敏夫(つちや としお) 【ホームページ】<https://www.coopnet.jp/>

【組合員数】510万人(2020年9月20日現在)

【会員生協】コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、コープながの、コープにいがた、コープクルコ